

本書の利用にあたって

近年、我が国では製造業への就職比率や定着率の低さなど、若者のモノづくりマインドは低下傾向にあり、技術者の確保や基盤的技術の継承等が困難な状況になりつつあります。

一方、余暇活動の多様化のなか、観光産業は21世紀に期待される産業領域の一つであり、地域が有する資源を活用した地域振興策として有望とされています。

東北経済産業局では、東北地域経済の活性化を図るため、工場や企業博物館等の見学などモノづくりマインドの鼓舞につながる「産業観光」の推進に期待しており、地域産業を観光資源とすべく調査を実施してまいりました。

「総合的な学習の時間」の実施もはずみとなり、教育現場でも起業家精神の涵養を目指したアントレプレナーシップ教育への取り組みが始まっています。児童生徒にとって生の現場に触れ、そこで働く人の声を聞くことは得難い体験となるものです。

本データは、上記調査の一環としまして、各地域の「産業観光」としての資源の把握、小中学生を始めとする見学者の各事業所における受け入れ状況やそのための条件などを把握するために平成15年11月、東北地域の製造業の本社事業所及び支社工場に対しアンケート調査を送付し回答あったものを掲載したものです。

本書の利用にあたっては、以下の点にご留意のうえ、双方の出会いが意義あるものとなることを願う次第です。

1. 記載内容は、調査時点(平成15年11月から12月)のものであり、内容については変更が生じている場合もありますのでご注意ください。
2. 見学に関する問い合わせ・申し込みは直接、各事業所をお願いします。
3. 見学の受け入れは、あくまで各所とも本来業務プラスアルファの部分であることから、日程、時間について十分な余裕をもって設定・交渉いただきますようお願いします。
4. 各事業所とも「モノ」を作る現場です。危険な場所や立ち入りが制限されている場所等、各所の注意事項を厳守して下さい。写真やビデオ撮影につきましても、必ず事前に可否をご確認下さい。
5. インターンシップにつきましては、掲載してある内容と条件が異なりますので、詳細はインターンシップの受入れを行っている事業所にお問い合わせ下さい。